

岸辺露伴は変わらない　～変化を繰り返す日常～

気まぐれな富士山

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

杜王町在住の人気漫画家、岸辺露伴。

これは、彼にまつわる不可思議な話。

過去、現在、未来、そして世界を、彼は目撃した。

そのお話をほんの少しだけ覗いてみよう。

これは、『岸辺露伴は動かない』のクロスオーバー作品です。

今のところ考えているクロスオーバーは、

- ・ウマ娘プリティダービー
- ・ブラック・ジャック
- ・Fateシリーズ
- ・東方Project
- ・中間管理職トネガワ
- ・東京卍リベンジャーズ
- ・グラップラー刃牙

ここから多分増えていきます。

了承できる方のみ閲覧ください。

プロローグ

目次

プロローグ

「腕を上にあげて、手首の角度はキッチリ90°をキープ。各指は曲げずに真っ直ぐを保つ。」

日常には、感じられないほど小さな変化が訪れる。

毎日同じく日常、常なる日。

何も変化のない日常

そんなものは無い。

「腕を前に出し、指を一本づつ折っていく。この時の手の角度も90°」

『不変』とは有り得ない。

有り得ないというのはつまり、『確実に無い』ってことだ。

それが訪れる瞬間、『不変』が訪れる瞬間に、この世界は破綻する。

まあ、訪れることは決してないのだが。

「1・2・3・4・5」

なぜなら、人間というものは自ら変化していくからだ。

明日は何を食べよう、誰と話そう、どの足で前に出ようなどなど

挙げればキリがない。

「閉じた指を、また開いていく。」

この岸辺露伴もまた同じ。

変化を求め、変化に富んだ者をよく観ることが好きだ。

ただ見るのではなくよく『観る』ことだ。

僕に与えられたギフト

まあ、この話はまた今度するでしょう。

「1・2・3・4・5」

そしてこれから綴るのは、僕が体験した数々の話だ。

それも、きつと別の世界の話。

可憐な『馬女』の話。

奇妙な運命を辿る『無免許医師』の話。

人類の過程に遺る『英霊』の話。

誰も知らない『幻想郷』の話。

自身の努力でN.O.2になった『中間管理職』の話。
未来を変えようと奔走する『不良少年』の話。

e t c

これは、^{リアル}現実と^{エゴ}幻想の狭間のような世界を駆けたこの岸辺露伴の、
実際にこの目で、耳で身体で感じた話だ。

「以上、漫画を描く前の準備体操、終わり。」

主人公 岸辺露伴

16歳の時から漫画『ピンクダークの少年』を連載している天才漫画家。虹村形兆の弓矢により、スタンド能力が発現した。面白い漫画を描くことを重要視していて、ネタ集めのためには手段を選ばない。

・生年 : 1979年

・血液型 : B型

・職業 : 漫画家

・代表作 : 『ピンクダークの少年』

・アシスタント : なし

・出身地 : M県S市杜王町

・性格 : わがまま、エゴイスト

・友人 : 広瀬康一

能力 ヘブンス・ドア

人間や生物を読み書き出来る本のようにする能力。本になった対象の遠い記憶や深層心理を読み取ったり、新たな事項を書き加えて相手の行動を制限することができる。ただし、露伴自身の遠い記憶や運命は読み取れない。